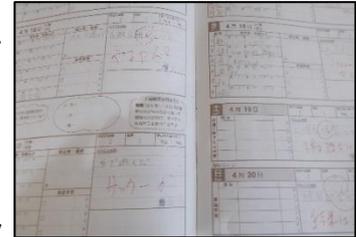


新たな不登校が生じない取組 「未然防止」の取組

不登校が生じない魅力ある学校・学年・学級づくりの推進

【取組 1】(A・B中学校)

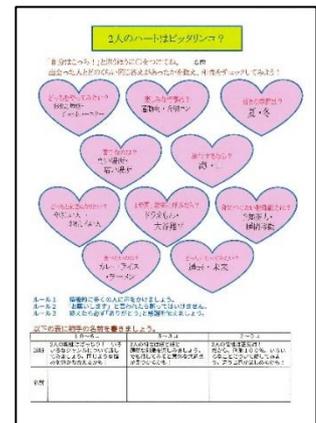
連絡ノートを活用して、教員と生徒が毎日やりとりすることで、生徒の現在の気持ちや出来事を伝える取組を進めた。生徒の気持ちを文章にすることで思いを整理しやすくなり、教員も生徒の心の動きを丁寧に受け止めることができた。直接話すのが苦手な生徒にとっても、文章での対話が安心して気持ちを表現できる手段となり、教員と生徒の信頼関係の構築につながった。こうした関係性の積み重ねが、生徒の心の居場所を広げ、新たな不登校の予防にも効果を示している。



生徒の気持ちを文章で書き記し、教員が生徒へ文章でコメントします。

【取組 2】(A・B中学校)

新学期や長期休み明けなど、生徒の不安や緊張が高まりやすい時期に合わせ、構成的グループエンカウンターを実施した。ゲーム的な要素を取り入れた活動を意図的に行うことで、生徒に笑顔や会話が自然に生まれ、教室の雰囲気や和らいだ。活動の中で互いの考えや気持ちに気付き、受け止め合う経験を重ねることで、生徒同士のつながりが少しずつ深まり、安心して過ごせる人間関係づくりのきっかけとなっている。教室の雰囲気にも、穏やかさや温かさが感じられるようになった。



【取組 3】(B中学校)

校外学習の事前指導で、生徒自身がルールを話し合い、決定する活動を行った。自分たちで考えたルールであることから、ルールを守る意識がより高まった。また、生徒の主体性や責任感が育まれるとともに、生徒同士の関わりも増え、意見を尊重し合う雰囲気が生まれ、安心できる学級づくりにつながった。

【取組 4】(全巡回担当校)

「不登校対応巡回教員だより」を作成し、教職員が生徒の心理面の状態に理解を深めることができるようにしている。また、不登校の背景、発達特性、個に応じた学びの在り方などを巡回担当校の教職員に助言した。これにより教職員の不登校への理解や捉え方が深まり、不登校生徒への支援の方向性を明確して、生徒の状況に応じて柔軟な対応ができるようになった。こうした教職員への不登校支援の考え方を周知し、生徒が安心して学校生活に参加できる環境づくりにつなげることができた。

多様な学びの場を確保する取組

（「早期支援」及び「長期化への対応」の取組）の推進

支援会議の充実（A中学校）

特別支援教育の観点も踏まえつつ、「登校支援会議」やケース会議において不登校生徒への支援について協議している。各会議においてSCやSSW、支援員等の関係者が参加できるように調整するとともに、検討内容を焦点化することで、生徒への迅速な対応につなげることができた。

アウトリーチによる支援（C中学校）

不登校対応巡回教員が、生徒の自宅まで迎えに行き、校内別室まで付き添って登校する取組を行った。こうした登校支援を実施することで、学びを継続し、交流の機会を確保しやすくなった。アウトリーチによる支援により、生徒と不登校対応巡回教員の間関係づくりにもつながっている。

校内別室における支援（A・D中学校）

校内別室を利用する生徒が校内別室のレイアウトについて意見を出し合いながら、自分たちが安心して過ごせる空間づくりを行った。不登校対応巡回教員や支援員が生徒に声掛けや助言を行うことで、生徒同士のみならず、生徒と支援員等との人間関係づくりにもつながった。また、自分たちの居場所を自分たちで考え、整えたことで、居場所への愛着と安心感が高まり、「自分の居場所」としてより実感できるようになった。



生徒が考えたレイアウト

デジタル機器を活用した支援（E中学校）

教職員が生徒一人一人にどのような支援を行ったのかをフォームに記載して、校内で閲覧できる体制にした。不登校対応巡回教員やSCがフォームを通じて生徒の現在の様子とこれまでの生徒の記録を把握し、教職員に生徒への支援についての助言を行った。組織的に対応することで、個に応じた迅速かつ的確な支援につながった。

関係機関との連携（D中学校）

教職員を対象に、児童養護施設の見学会を実施した。教職員は、施設から学校へ通学している生徒の日常の様子を把握することができ、生徒理解が深まった。また、SCやSSWと情報を共有することで、学校と、児童養護施設等の各関係機関との連携が一層進み、迅速な生徒支援につなげることができるようになった。

成果

生徒が安心して気持ちを伝えられる人間関係や、自分の居場所と感じられる環境を整えることで、自己表現や主体的な行動が自然と促され、学習や人間関係への意欲も高まった。

課題

教職員や関係機関との情報共有、個別対応を検討する時間を計画的に確保し、一貫して支援できる体制づくりが求められる。